

国語科学習指導案

福山市立川口小学校 授業者：田中 広枝

- 1 日時 2010年（平成22年）9月17日
- 2 学年・組 1年1組（男子16名 女子18名 計34名）
- 3 単元名 みんなでよもう

【1】 つまずきの把握

平成21年度全国学力・学習状況調査

B-3-2-(1)(2)

上野さんは、イ部をよく理解するために書きかえることにしました。Bの中に入るふさわしい内容を筆者の考えに合わせ、書きだしの言葉に続けて、六十字以上八十字以内にまとめて書きましょう。

②「おわりに」の中に書いてある筆者の考え

マナーやルールには、イ. もうワンランク上のむずかしい点があるわけです。



さらに、マナーやルールのむずかしい点は、

B

【出題の趣旨】

目的や意図に応じて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

【学習指導要領の内容・領域】

- C 読むこと（第5・6学年）
ウ 目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか、読んだりすること。

	正答率
県	55.3%
本校	51.5%

解答類型	1◎	2	9	無解答
本校の割合(%)	51.5	10.7	24.3	13.6

この問題を解くために必要な力

- 自分の考えをまとめるために、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容や叙述などに注意し、自分に考えを明確にしながらか読む力。
- 指示された部分の内容について、必要な要素を押さえ、与えられた字数に即して要約する力。

誤答分析

条件①マナーやルールは、自分の気持ちや行動だけを考えていては、相手とずれてしまうことなどにふれている。

条件②書き出しの言葉を含めて、60字以上80字以内で書いている。

○解答類型2について

条件①は満たしているが、条件②は満たしていない。

【2】 指導改善ポイントの明確化

調査結果からみる課題

【課題となる力】

- 本や文章を読んで、感じたことや思ったこと、考えたことなどをまとめて発表し合う力。

【指導上の課題】

- 指示された部分の内容について、登場人物の行動などの必要な要素を押さえ、与えられた字数に即して要約させる指導が不十分であった。
- 中心となる登場人物の行動や心情の変化、描かれている情景の変化などを叙述に基づいて読む指導が不十分であった。

指導改善ポイント

主語と述語に気をつけて登場人物の行動や心情の変化、場面の移り変わりを読み取らせる。

【指導の工夫】



- ① 前の場面と比べて読む活動を通して同じことと違うことを発見させる。



- ② 場面の内容を一文にまとめさせる。

主語と述語に気をつけて登場人物の行動や心情の変化、場面の移り変わりを読み取らせる。



- ① 前の場面と比べて読む活動を通して、似ていることと違うことを発見させる。

- 登場人物や登場人物の行動を比べて読ませ、似ていることと違うことをまとめさせることで、登場人物の行動や場面の移り変わりを正確に読み取らせる。



- ② 場面の内容を一文にまとめさせる。

- 主語と述語に線を引かせることで、登場人物の行動を正確に読み取り、一文にまとめさせる。

【3】 単元について

本単元は、学習指導要領[第1学年及び第2学年]「C読むこと」の指導事項「(1)ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと、ア 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること、エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」を受けて設定した。

本教材「大きなかぶ」は、栽培の喜び、協力の喜び、収穫の喜びにあふれた物語である。その上、繰り返しのあるリズムカルな文章であり、子どもたちにとっても親しみやすいものである。また、登場する人物がどんどん増えていくにもかかわらず「かぶはぬけません」という予想を裏切った展開や、出てくる登場人物がどんどん小さくなっていくおもしろさ、さらに、1番小さなねずみ加わることで「とうとうかぶはぬけました」と課題を達成するという展開は、子どもたちを引きつける。

「大きなかぶ」を、<いつ><どこで><だれが><なにを><どうした><どうなった>という読みの観点で読み取らせ、場面や登場人物の様子について想像を広げながら読む。「けれども」「それでも」・・・「とうとう」などの微妙に変化する言葉やくり返しの文に着目させ、その役割に気付かせる。また、主語と述語に気を付けて一文にまとめたり、登場人物の行動や心情の変化、場面の移り変わりを読み取らせたりする。

さらに、「大きなかぶ」と「ももたろう」とを観点に沿って読み比べ、似ているところや違うところを見つけさせる。これらの活動を通して、民話のおもしろさ・楽しさを味わわせる。

最後に、「大きなかぶ」の音読発表会をする。民話独特の語り口調や言い回しなどに親しませ、広がりのある読書活動ができるようにする。

【4】 単元の目標

関心・意欲・態度	書く能力	読む能力	言語事項
<ul style="list-style-type: none"> お話に興味を持って聞いたり、読んだりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物にあてて書く手紙であることを考えながら書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読できる。 場面の様子や登場人物について想像を広げながら読むことができる。 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 主語と述語の関係に注意して読んだり書いたりすることができる。

【5】 指導と評価の計画

(全 1 4 時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評価方法	
		関	書	読	言		評価規準
一	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きなかぶ」を場面の様子や登場人物について想像を広げながら読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 前の場面と比べて読む活動を通して、似ていることと違うことを発見させる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 場面の内容を一文にまとめさせる。 </div> <p style="text-align: center;">(8) (本時 6/8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大きなかぶ」の登場人物に手紙を書く。 <p style="text-align: center;">(1)</p>	○		◎	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読を聞いたり挿絵を見たりしてお話に興味を持っている。 ・ 読みの観点に沿って、場面の様子や登場人物について、想像を広げながら読んでいる。 ・ くり返しや接続詞・副詞に気をつけながら書き抜いている。 ・ 語のまとまりや言葉の響きに気を付けながら音読している。 ・ 伝えようとする相手と内容を決めて手紙を書いている。 	観察 発言 ワークシート ワークシート 音読 手紙
二	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きなかぶ」と「ももたろう」の比べ読みをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 前の場面と比べて読む活動を通して、似ていることと違うことを発見させる。 </div> <p style="text-align: center;">(2)</p>	○		○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ももたろう」を楽しんで聞いている。 ・ 登場人物の行動がわかる言葉や文に線を引いたり書き抜いたりする。 ・ 「大きなかぶ」と読み比べ、似ているところを見つけながら読んでいる。 ・ 語のまとまりや言葉の響きに気を付けながら音読している。 	観察 ワークシート 発言
三	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きなかぶ」の音読大会をする。 <p style="text-align: center;">(2)</p>			○		<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大きなかぶ」の場面の様子や登場人物の気持ちがよくわかるように工夫して音読している。 	観察
四	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習のまとめをする。 <p style="text-align: center;">(1)</p>	○				<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元の学習をふり返ろうとしている。 	ふり返りカード

※太枠部分が課題となる力を特に育成する時間

【6】 本時の学習

(1) 本時の目標

- ・主語や述語に気をつけて，場面を一文にまとめさせる。

(2) 本時の学習展開

学習活動と予想される反応	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 導入</p> <p>○前時の復習</p>	<p>・既習事項を確認する。</p>		
<p>2 課題の提示</p> <p>○本時のめあてを確認する。</p>			
<p>まえのばめんとくらべてにているところやちがうところをみつけて，ばめんをいちぶんにまとめる。</p>			
<p>3 課題の解決</p> <p>○本時の場面を音読する。</p> <p>○観点に沿って，場面の様子を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おばあさんは ・まごを ・よんできた <p>○前時と似ているところや違うところを見つける。</p> <p>○見つけたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よんできた ・かぶをひっぱった ・「うんとこしょ，どっこいしょ。」 ・かぶはぬけなかった 	<p>・読みの観点に沿って，読み取らせる。</p> <p>＜だれが＞＜なにを＞ ＜どうした＞</p> <p>・似ているところや違うところに線を引かせる。</p> <p>・ペアで確かめさせる。</p> <p>・場面（絵）や本文を示しながら話させる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>前の場面と比べて読む活動を通して，似ていることと違うことを発見させる。</p> </div>	<p>・似ているところや違うところを見つけ，線を引いている。</p>	<p>観察</p> <p>発言</p>